

豊川市地球温暖化対策実行計画 アンケート調査結果報告書

平成 2 6 年 1 0 月
豊川市環境課

目 次

1. アンケート概要	1
2. 市民アンケート	2
3. 事業所アンケート.....	13

1. アンケート概要

●調査目的

本業務は、市域の地球温暖化対策についての施策を総合的かつ計画的に推進するための「豊川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下「計画」とする。）の策定に関する調査を目的としたアンケート調査結果の集計・分析を行うことを目的とする。

●調査対象

- ・配布数： 一般市民 2,000 人
 事業所 300 事業所
- ・回収数： 一般市民 883 人（回収率：44.2%）
 事業所 162 事業所（回収率：54.0%）

●調査時期

- ・発 送：平成 26 年 8 月 22 日（金）
- ・投函締切：平成 26 年 9 月 5 日（金）

●調査方法

一般市民：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
事業所：無作為抽出による郵送配布・郵送回収

●結果とりまとめの留意事項

- A) 設問ごとの有効回答数は「n = ○」と表示しており、回答比率はこれを 100%として算出している。
- B) 本報告書の数表における比率は百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合がある。

2. 市民アンケート

市民 問1 性別【単独回答】

回答者の性別は、「女性」が53.1%、「男性」が46.4%であった。

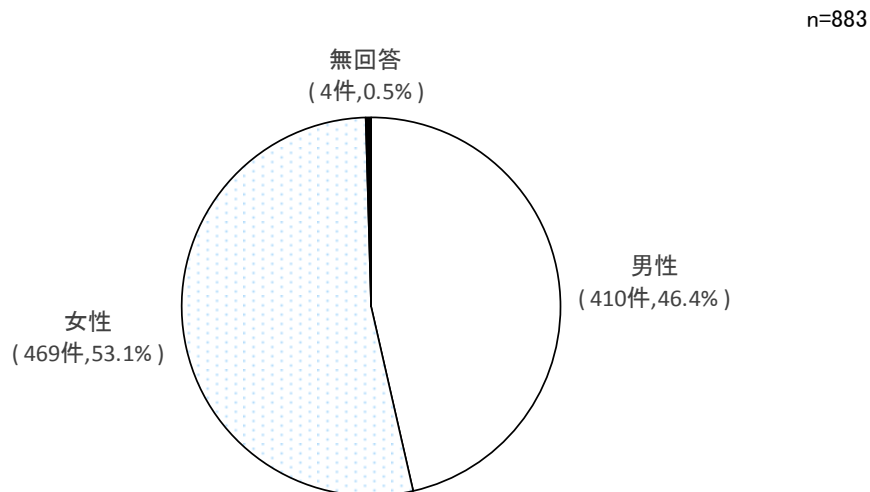


図 2-1 性別

市民 問2 年齢【記述】

回答者の年齢は、「60～70歳」が最も多く24.1%、次いで「70歳以上」が21.0%であった。

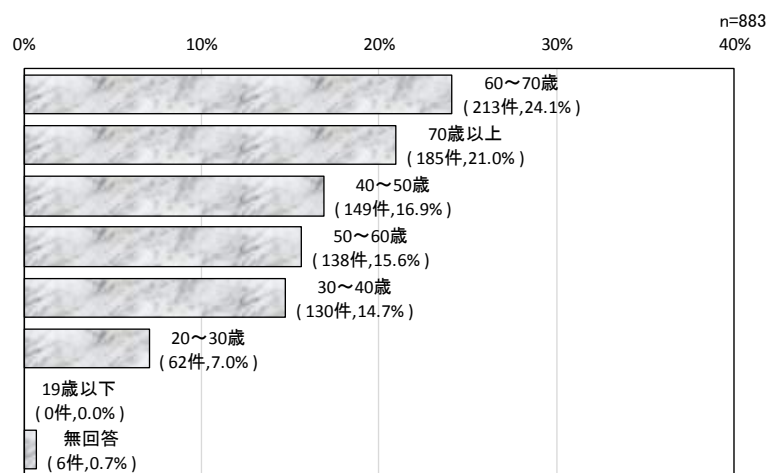


図 2-2 年齢

市民 問3 同居家族の人数【記述】

回答者の同居家族の人数は、「2人」が最も多く29.4%、次いで「3人」が23.1%であった。

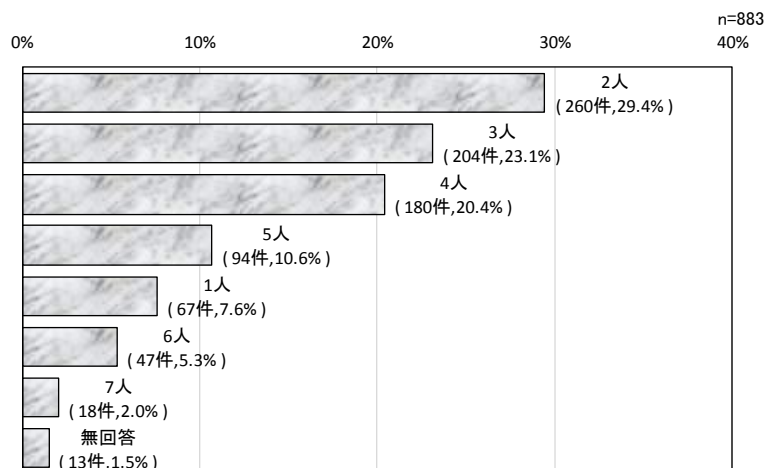


図 2-3 同居家族の人数

市民 問4 使っているガスの種類【単独回答】

回答者の使用しているガスの種類は、「プロパンガス」が最も多く58.9%、次いで「都市ガス」が21.2%であった。

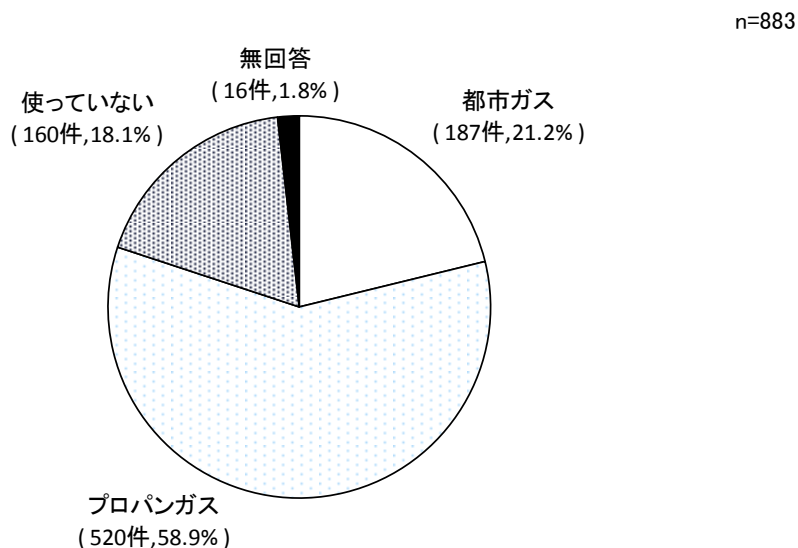


図 2-4 使用しているガスの種類

市民 問5 1ヶ月の都市ガス使用量【記述】

回答者の1ヶ月の都市ガス使用量全体の平均・最大・最小は表 2-1 に、1ヶ月の都市ガス使用量毎の件数は図 2-5 に示す通りであった。

夏場の1ヶ月の都市ガス使用量は、「10～20 m³」が最も多く 31.3%、次いで「20～30 m³」が 27.8%であった。

冬場の1ヶ月の都市ガス使用量は、「50～100 m³」が最も多く 25.7%、次いで「30～40 m³」が 15.8%であった。

表 2-1 1ヶ月の都市ガス使用量

1ヶ月の都市ガス使用量		夏場	冬場
都市ガス使用者数		187件	187件
使用量有効回答数		116件	101件
使用量無回答		71件	86件
都市ガス使用量	平均	21m ³	49m ³
	最大	416m ³	314m ³
	最小	0.3m ³	2.3m ³

※有効回答は、使用量に答えた回答者を集計対象とした。

※料金で答えた回答者については、使用量へ換算ができないため集計対象から除外した。

上段:夏場 (n=115)

下段:冬場 (n=101)

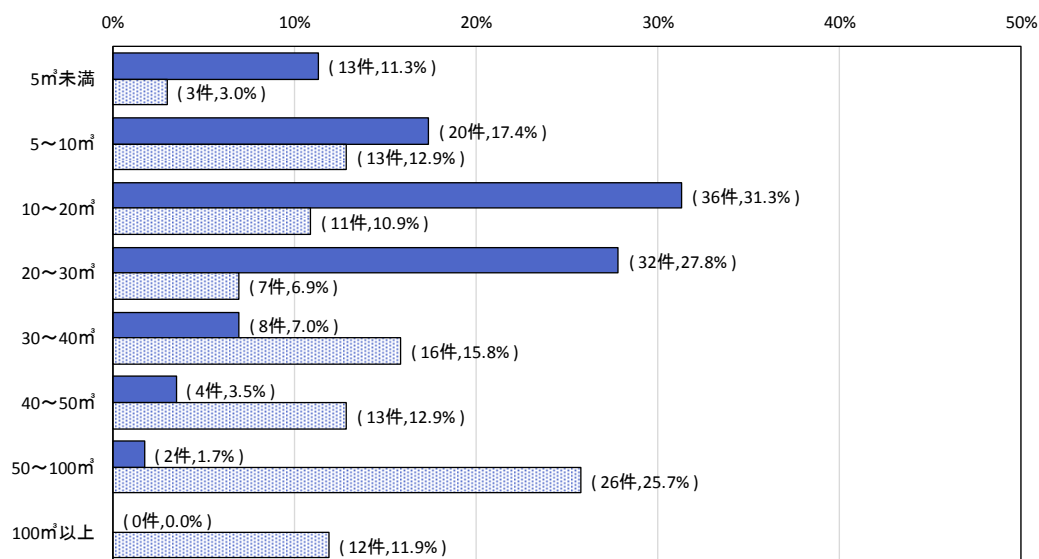


図 2-5 1ヶ月の都市ガス使用量(件数)

市民 問5 1ヶ月のプロパンガス使用量【記述】

回答者の1ヶ月のプロパンガス使用量全体の平均・最大・最小は表 2-2 に、1ヶ月のプロパンガス使用量毎の件数は図 2-6 に示すとおりであった。

夏場の1ヶ月のプロパンガス使用量は、「5～10 m³」が最も多く 34.8%、次いで「5 m³未満」が 28.3%であった。

冬場の1ヶ月のプロパンガス使用量は、「10～20 m³」が最も多く 30.1%、次いで「20～30 m³」が 17.4%であった。

表 2-2 1ヶ月のプロパンガス使用量

1ヶ月のプロパンガス使用量		夏場	冬場
プロパンガス使用者数		271件	236件
使用量有効回答数		271件	236件
	100m ³ 未満	264件	215件
	100m ³ 以上	7件	21件
使用量無回答		244件	284件
プロパンガス 使用量	平均	61m ³	72m ³
	100m ³ 未満	9.8m ³	18.9m ³
	100m ³ 以上	552.4m ³	610.4m ³
	最大	1,922m ³	2,000m ³
	最小	0.3m ³	0.8m ³

※有効回答は、使用量に答えた回答者を集計対象とした。

※料金で答えた回答者については、使用量へ換算ができないため集計対象から除外した。

上段：夏場（n=276）

下段：冬場（n=236）

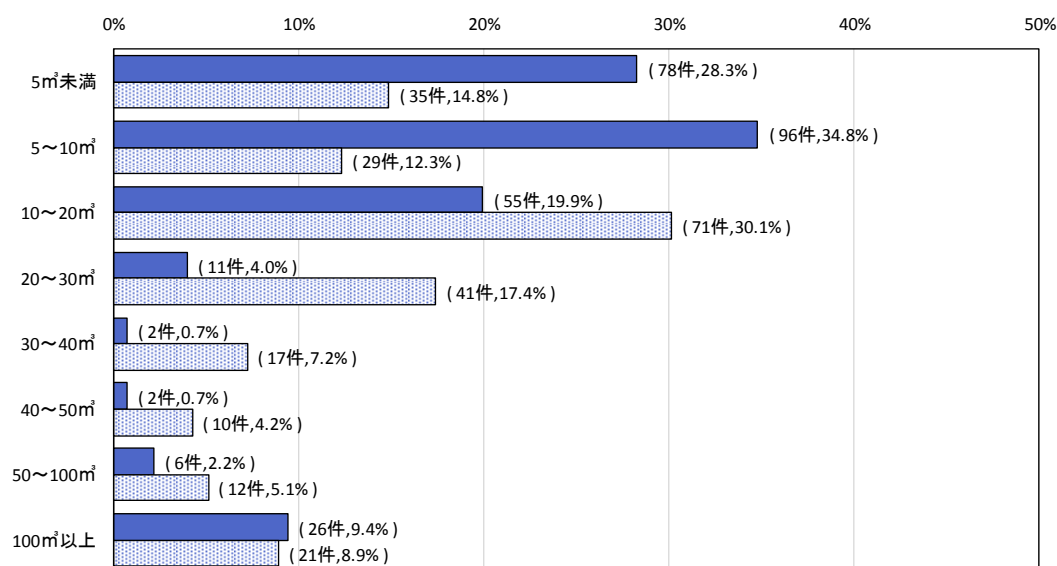


図 2-6 1ヶ月のプロパンガス使用量(件数)

市民 問5 1ヶ月の電気使用量【記述】

回答者の1ヶ月の電気使用量全体の平均・最大・最小は表 2-3 に、1ヶ月の電気使用量毎の件数は図 2-7 に示すとおりであった。

夏場の1ヶ月の電気使用量は、「200～400kWh」が最も多く43.7%、次いで「400～600kWh」が22.2%であった。

冬場の1ヶ月の電気使用量は、「200～400kWh」が最も多く35.6%、次いで「400～600kWh」が26.4%であった。

表 2-3 1ヶ月の電気使用量

1ヶ月の電気使用量		夏場	冬場
電気使用者数		883件	883件
使用量有効回答数		481件	424件
使用量無回答		402件	459件
電気使用量	平均	404kWh	487kWh
	最大	2,096kWh	1,776kWh
	最小	1.0kWh	53.0kWh

※有効回答は、使用量に答えた回答者を集計対象とした。

※料金で答えた回答者については、使用量へ換算ができないため集計対象から除外した。

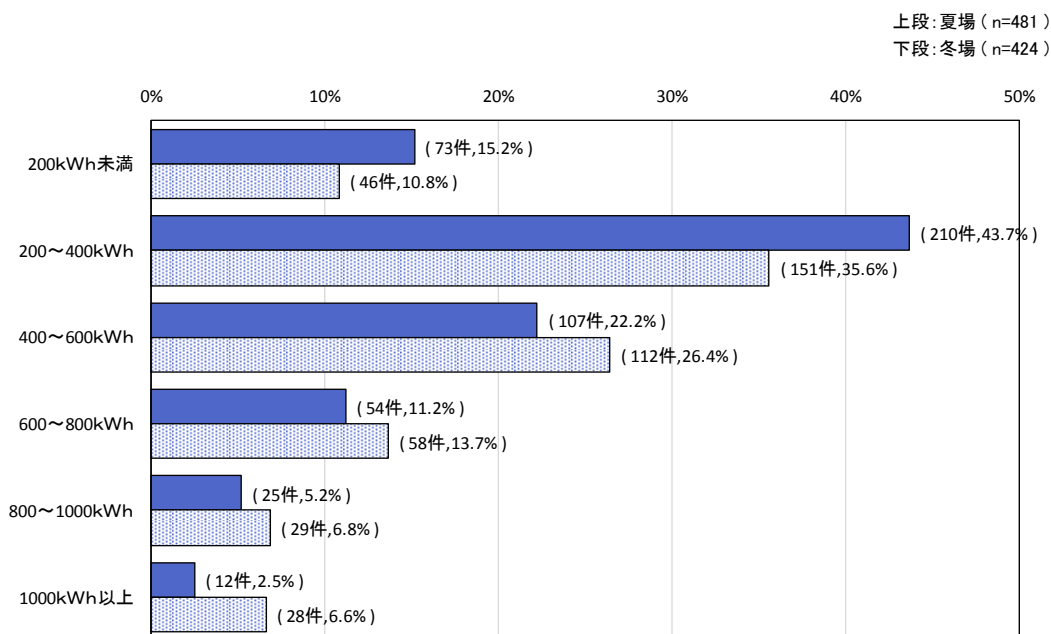


図 2-7 1ヶ月の電気使用量(件数)

市民 問6 地球温暖化問題に関心がありますか？【単独回答】

回答者の地球温暖化問題への関心は、「関心がある」が最も多く 68.1%、次いで「あまり関心はない」が 14.9%であった。

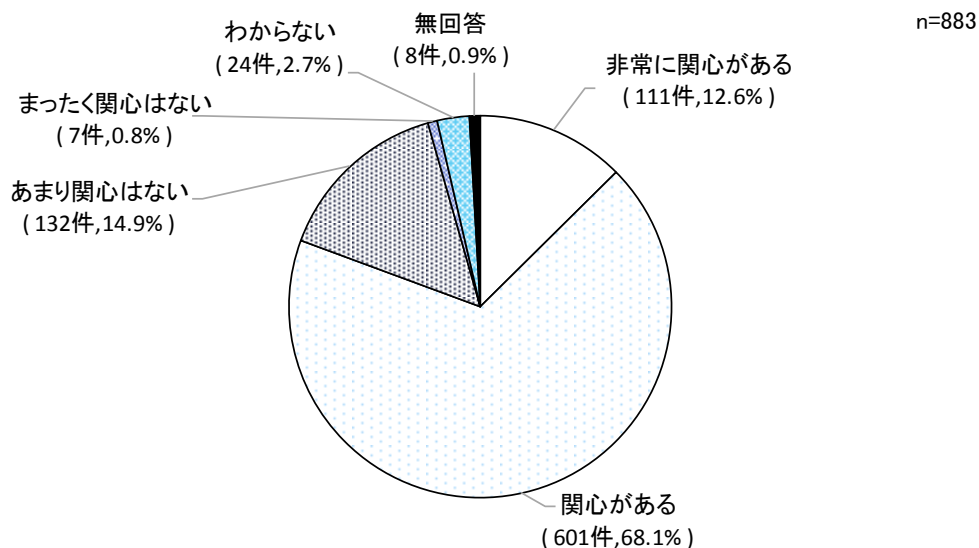


図 2-8 地球温暖化問題への関心

市民 問7 地球温暖化対策に取り組む姿勢として、あなたの考えに近いものを選んでください。

【単独回答】

回答者の地球温暖化対策の取組への考えは、「負担にならない範囲で取り組みたい」が最も多く 63.5%、次いで「少しぐらい負担になっても取り組みたい」が 25.8%であった。

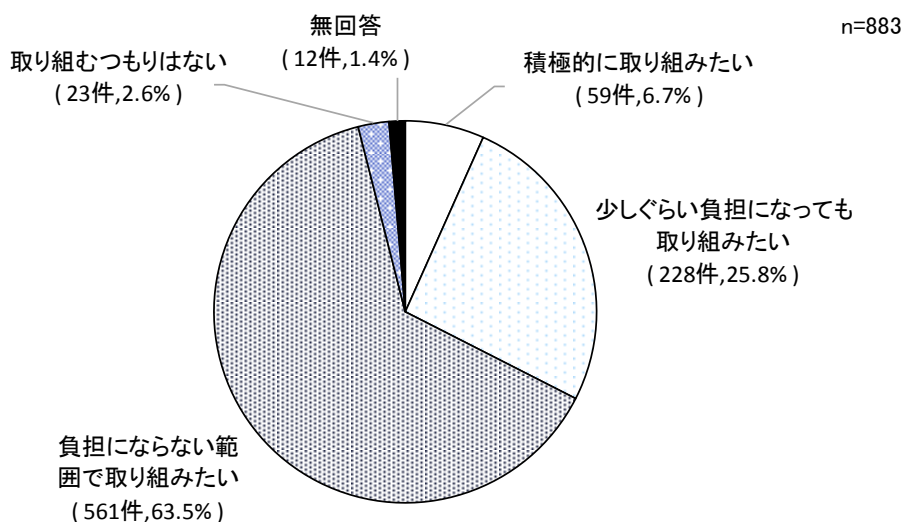


図 2-9 地球温暖化対策の取組への考え

市民 問 8 環境への配慮として、あなたは普段の生活でどのようなことに取り組んでいますか？また、今後取り組もうと思いますか？各項目ごとに、あなたの取り組み状況に最も近いものを選んでください。【単独回答】

(1) 全体総括

回答者の環境配慮への取組状況は図 2-10、回答毎の上位となる項目については、表 2-4、表 2-5、表 2-6 に示すとおりであった。

取り組み状況の内、「常に取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」を合わせた割合は、「⑪自動車を控えて公共交通機関や自転車を利用する」を除いたすべての項目で、約6割の回答者が取り組んでいる状況であった。

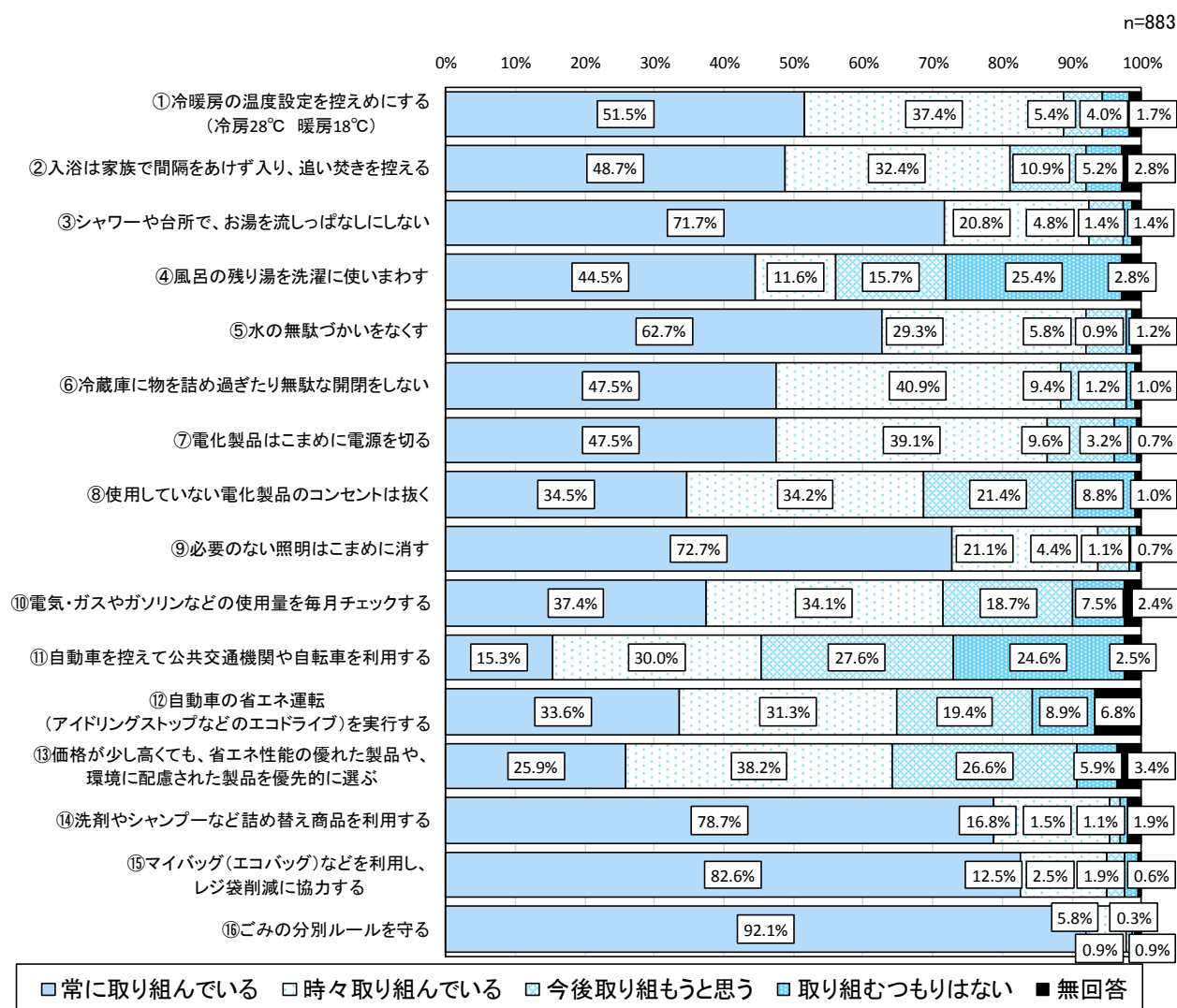


図 2-10 環境配慮への取組状況

(2) 常に取り組んでいる・時々取り組んでいる上位

回答者の常に取り組んでいる・時々取り組んでいる上位は表 2-4 に示すとおりで、上位 5 位については 9 割以上の回答者が実行しており、特に積極的に取り組んでいる状況であった。

表 2-4 常に取り組んでいる・時々取り組んでいる上位

順位	環境への取り組み	常に取り組んでいる・時々取り組んでいるの割合
1	⑩ごみの分別ルールを守る	97.8%
2	⑭洗剤やシャンプーなど詰め替え商品を利用する	95.5%
3	⑮マイバッグ(エコバッグ)などを利用し、レジ袋削減に協力する	95.0%
4	⑨必要のない照明はこまめに消す	93.8%
5	③シャワーや台所で、お湯を流しっぱなしにしない	92.5%

(3) 取り組むつもりはない上位

回答者の取り組むつもりはない上位は表 2-5 に示すとおりで、「④風呂の残り湯を洗濯に使いまわす」と「⑪自動車を控えて公共交通機関や自転車を利用する」については 2 割以上の回答者が取り組みに消極的であった。

表 2-5 取り組むつもりはない上位

順位	環境への取り組み	取り組むつもりはないの割合
1	④風呂の残り湯を洗濯に使いまわす	25.4%
2	⑪自動車を控えて公共交通機関や自転車を利用する	24.6%
3	⑫自動車の省エネ運転(アイドリングストップなどのエコドライブ)を実行する	8.9%
4	⑧使用していない電化製品のコンセントは抜く	8.8%
5	⑩電気・ガスやガソリンなどの使用量を毎月チェックする	7.5%

(4) 今後取り組もうと思う上位

回答者の今後取り組もうと思う上位は表 2-6 に示すとおりで、「⑪自動車を控えて公共交通機関や自転車を利用する」、「⑬価格が少し高くても、省エネ性能の優れた製品や、環境に配慮された製品を優先的に選ぶ」、「⑧使用していない電化製品のコンセントは抜く」で 2 割以上の回答者が今後取り組もうと思うと回答しており、今後の取り組み増加が期待できる状況であった。

表 2-6 今後取り組もうと思う上位

順位	環境への取り組み	今後取り組もうと思う割合
1	⑪自動車を控えて公共交通機関や自転車を利用する	27.6%
2	⑬価格が少し高くても、省エネ性能の優れた製品や、環境に配慮された製品を優先的に選ぶ	26.6%
3	⑧使用していない電化製品のコンセントは抜く	21.4%
4	⑫自動車の省エネ運転(アイドリングストップなどのエコドライブ)を実行する	19.4%
5	⑩電気・ガスやガソリンなどの使用量を毎月チェックする	18.7%

市民 問9 あなたが環境に配慮した行動に取り組もうとするとき、どのようなことが問題だと思いますか？【複数回答】

回答者の環境行動への問題点は、「環境にやさしい製品の価格が高い」が最も多く 59.7%、次いで「取り組んだ成果が実感できない」が 43.6%であった。

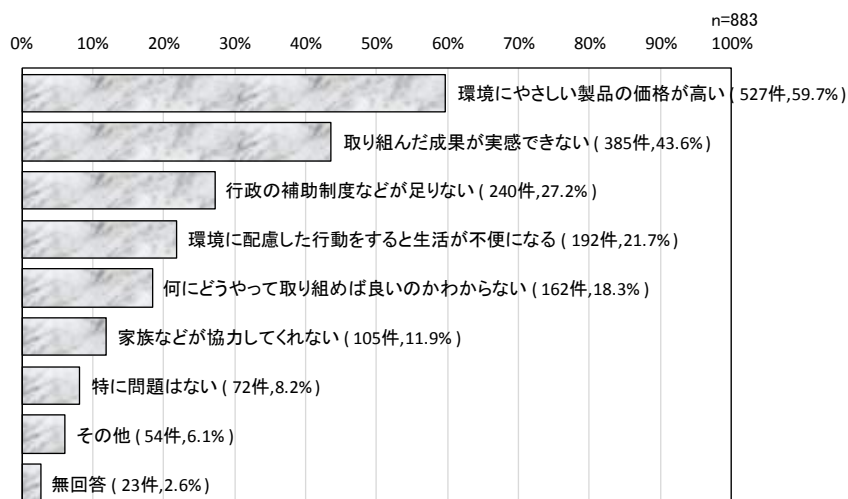


図 2-11 環境行動への問題点

市民 問10 地球温暖化対策を進めるため、市が取り組むべき施策をどのように考えますか？【複数回答】

回答者の市が取り組むべき施策は、「太陽光など自然エネルギーを利用した設備やエコカーなどの導入に対して補助制度を充実させる」が最も多く 51.1%、次いで「自然エネルギー設備などを市が率先して導入する」が 33.2%であった。

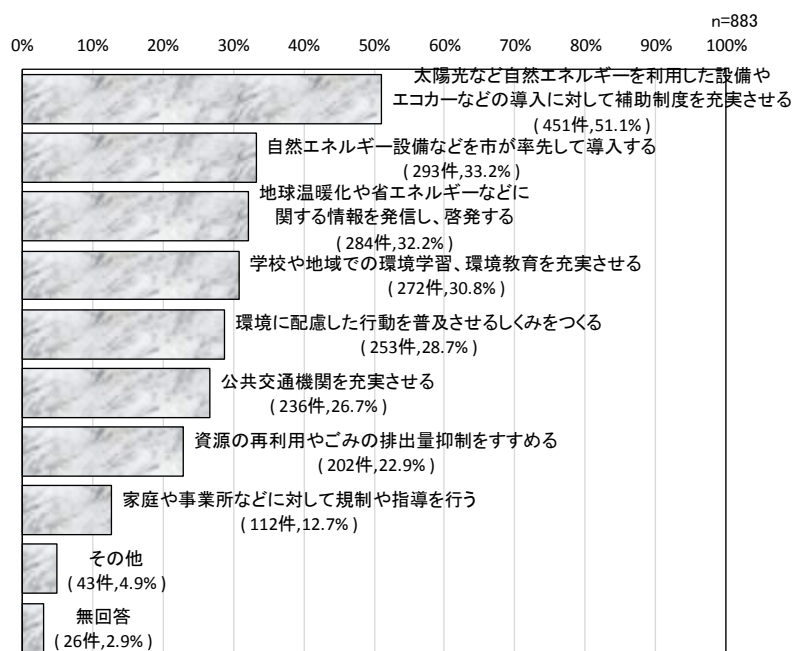


図 2-12 市が取り組むべき施策

市民 問 11 市から発信される温暖化対策や省エネルギー等の情報について、どのような手段で得たいと思いますか？【複数回答】

回答者の市が発信する情報の取得方法は、「広報とよかわ」や地域の回覧などで」が最も多く 82.4%、次いで「公共機関などでの掲示、チラシ」が 45.8%であった。

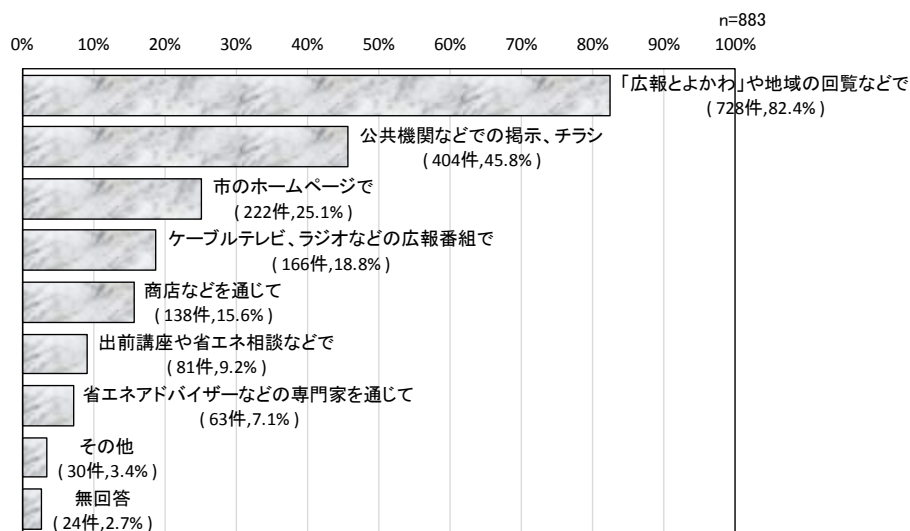


図 2-13 市が発信する情報の取得方法

市民 問 12 ご自宅で導入されている設備・機器等についてお答えください。【複数回答】

回答者の自宅で導入している設備・機器等は、「導入していない」が最も多く 38.8%、次いで「二重窓や外断熱など、住宅の断熱化」が 23.9%であった。

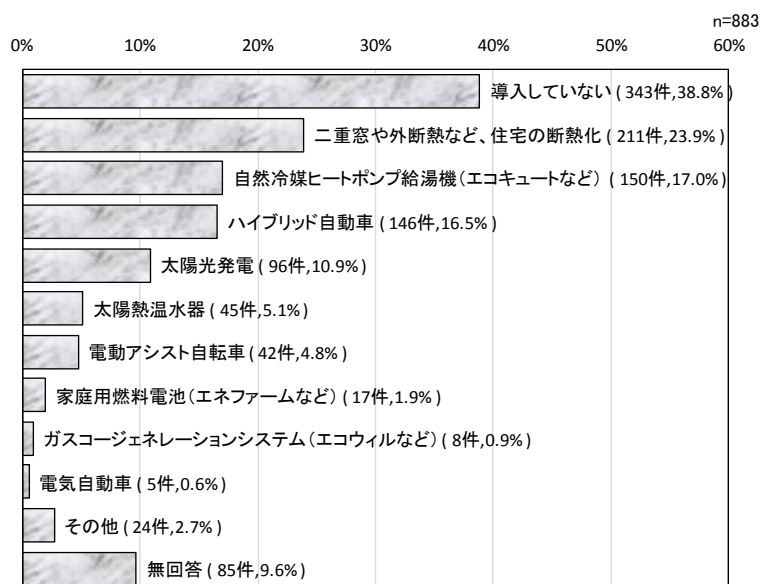
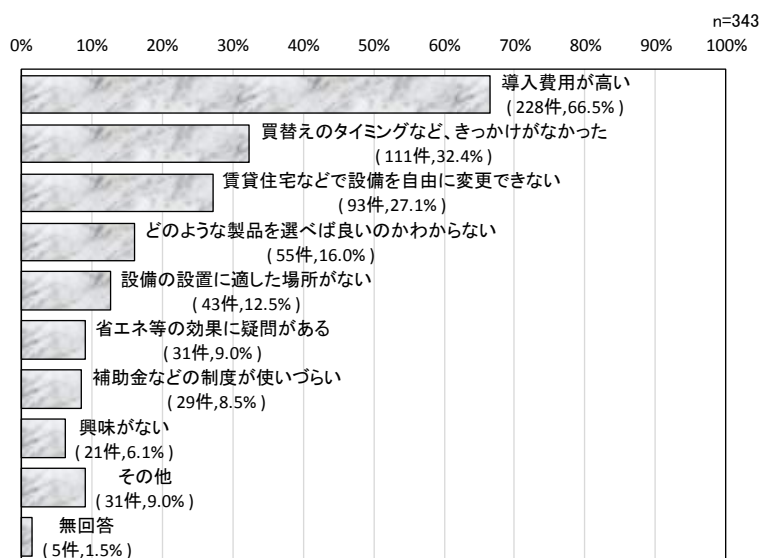


図 2-14 自宅で導入している設備・機器等

市民 問 13 問 12 で「11. 導入していない」と回答した方のみ自然エネルギー、省エネルギー設備・機器等を導入されていない理由【複数回答】

回答者の設備・機器等を導入していない理由は、「導入費用が高い」が最も多く 66.5%、次いで「買替えのタイミングなど、きっかけがなかった」が 32.4%であった。



※問12で11.「導入していない」を選択した回答者のみ集計対象とした。

図 2-15 設備・機器等を導入していない理由

市民 問 14 今後、ご自宅で導入したい設備・機器等についてお答えください。【複数回答】

回答者の今後、導入したい設備・機器等は、「ハイブリッド自動車」が最も多く 33.2%、次いで「太陽光発電」が 25.3%であった。

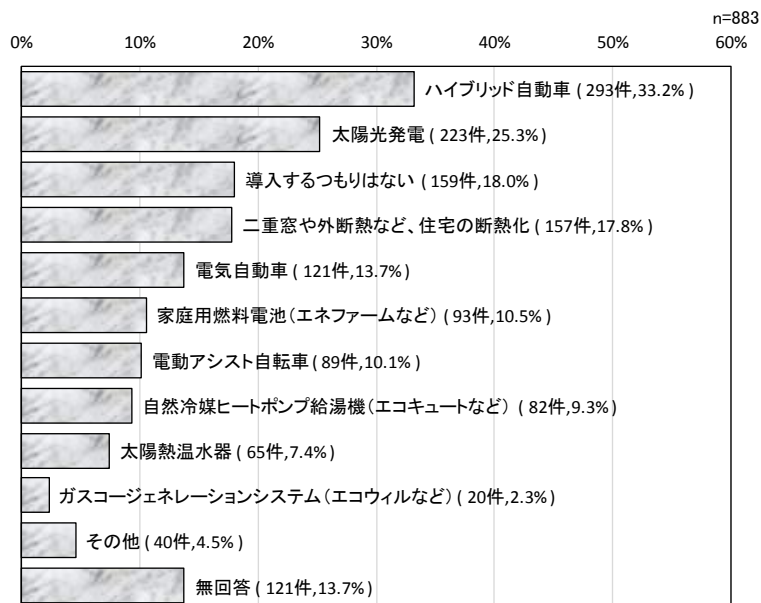
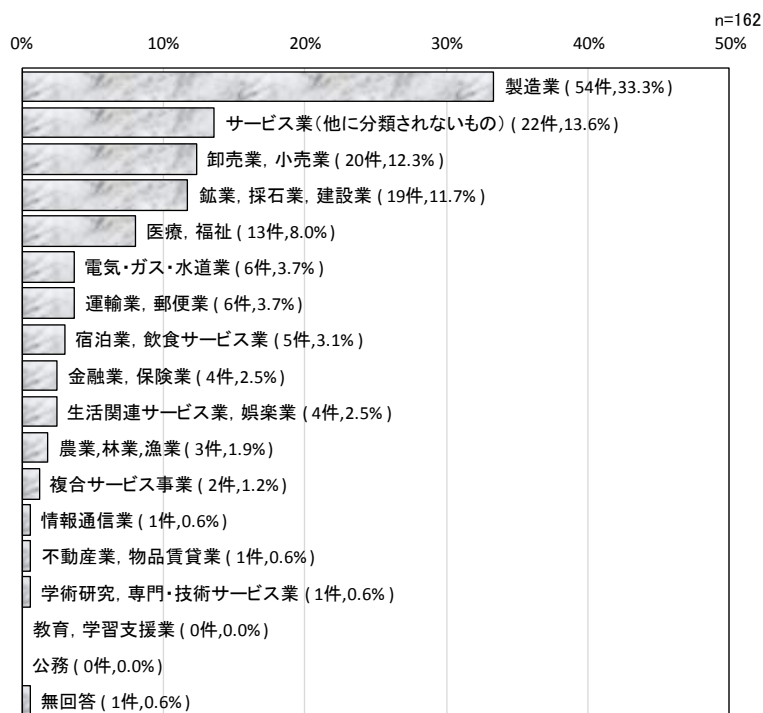


図 2-16 今後、導入したい設備・機器等

3. 事業所アンケート

事業所 問1 貴事業所の業種についてお答えください。(複数事業にまたがる場合は主たる事業に○をつけてください)【単独回答】

回答者の業種は、「製造業」が最も多く 33.3%、次いで「サービス業（他に分類されないもの）」が 13.6%であった。



※その他の業種は、日本標準産業分類に基づき各業種に仕訳・分類した。

図 3-1 業種

事業所 問2 貴事業所の従業員数についてお答えください。【単独回答】

回答者の従業員数は、「50～99 人」が最も多く 21.0%、次いで「100～199 人」が 19.1%であった。

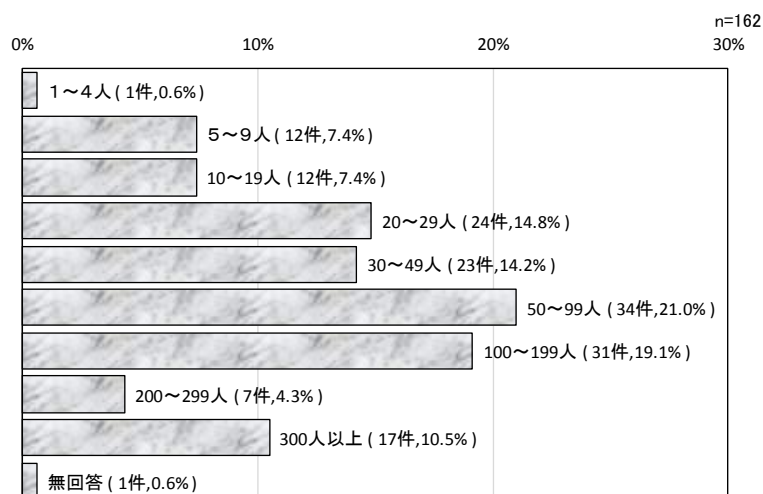


図 3-2 従業員数

事業所 問3 地球温暖化問題に関心がありますか？【単独回答】

回答者の地球温暖化問題への関心は、「関心がある」が最も多く 67.3%、次いで「非常に関心がある」が 19.8%であった。

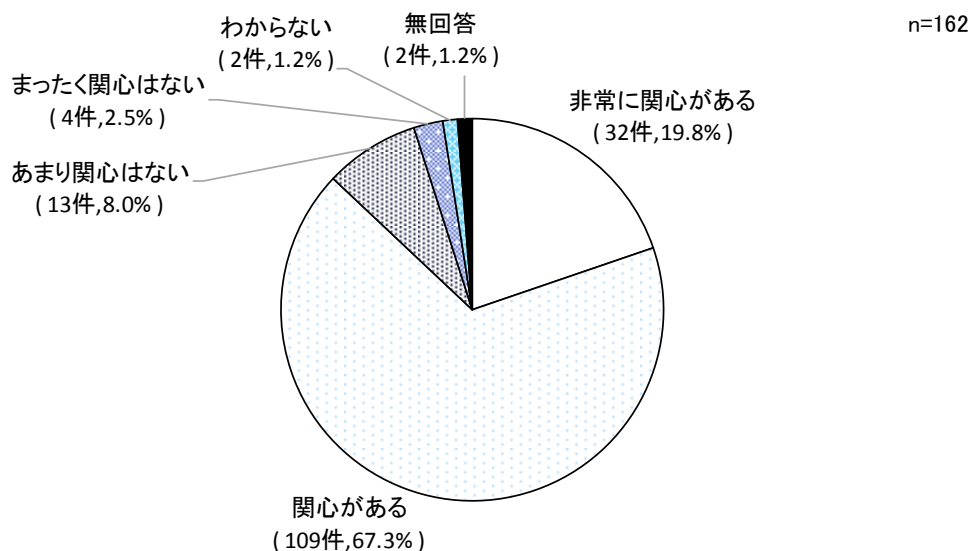


図 3-3 地球温暖化問題への関心

事業所 問4 地球温暖化対策と事業の配分についてお答えください。【単独回答】

回答者の地球温暖化対策と事業の配分は、「業績と両立できる範囲で行いたい」が最も多く 53.1%、次いで「現在の諸規制をクリアできる程度に行いたい」が 27.2%であった。

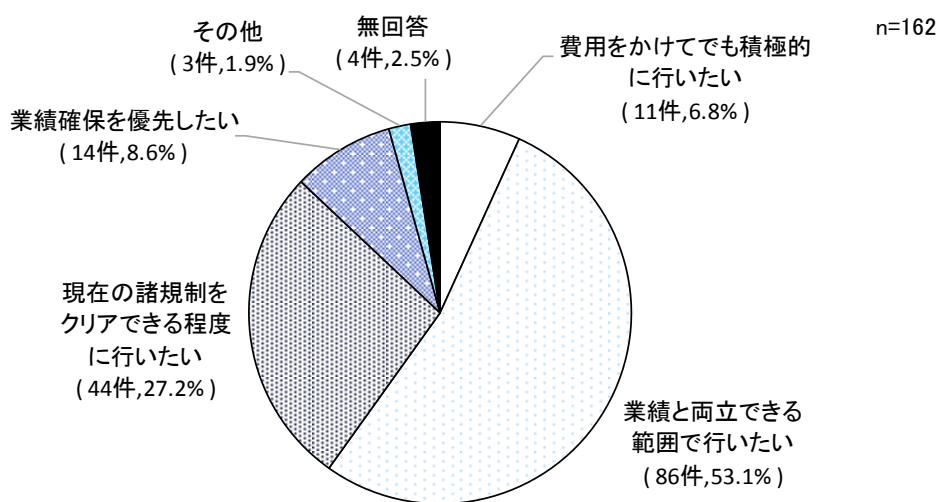


図 3-4 地球温暖化対策と事業の配分

事業所 問5 貴事業所の地球温暖化対策の考え方についてお答えください。【複数回答】

回答者の地球温暖化対策の考え方は、「企業の社会的責任であると考えるから」が最も多く 69.8%、次いで「経費節減も兼ねられるから」が 55.6%であった。

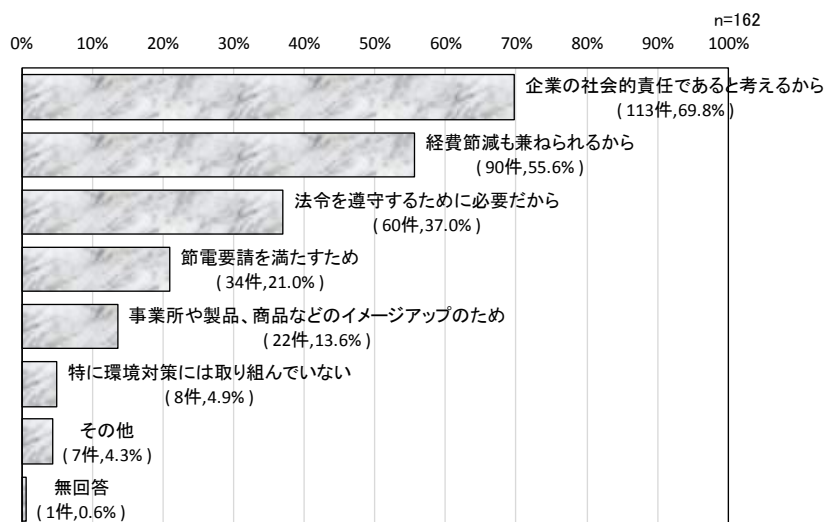


図 3-5 地球温暖化対策の考え方

事業所 問6 地球温暖化対策に対して、何らかの目標を設定されていますか？【単独回答】

回答者の地球温暖化対策に対する目標設定は、「特に目標を設定していない」が最も多く 48.1%、次いで「エネルギーの削減目標」が 22.2%であった。

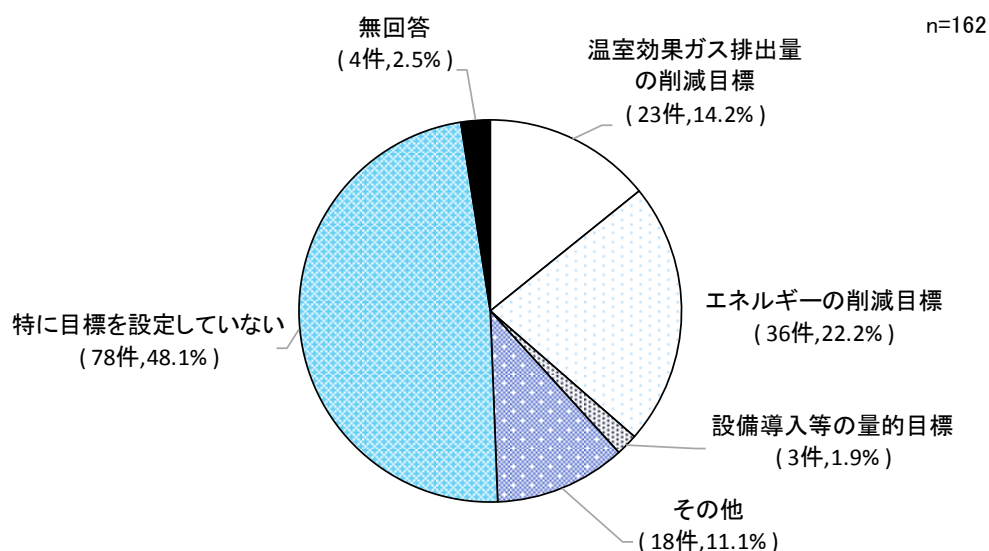


図 3-6 地球温暖化対策に対する目標設定

事業所 問7 貴事業所では環境マネジメントシステム（EMS）を導入されていますか？【複数回答】

回答者の環境マネジメントシステム導入状況は、「ISO14001」が最も多く 35.8%、次いで「導入する予定はない」が 29.0%であった。

また、上記以外の内訳は、「グリーン経営」が 1 件、「チャレンジ 25 キャンペーン」が 1 件、「以前は導入していたが現在は廃止」が 1 件、詳細無回答が 3 件であった。

準備中の内訳は、「親会社に準じて活動」が 2 件、「ISO14001」が 2 件、「エコステージ」が 1 件、「流動的に対応」が 1 件であった。

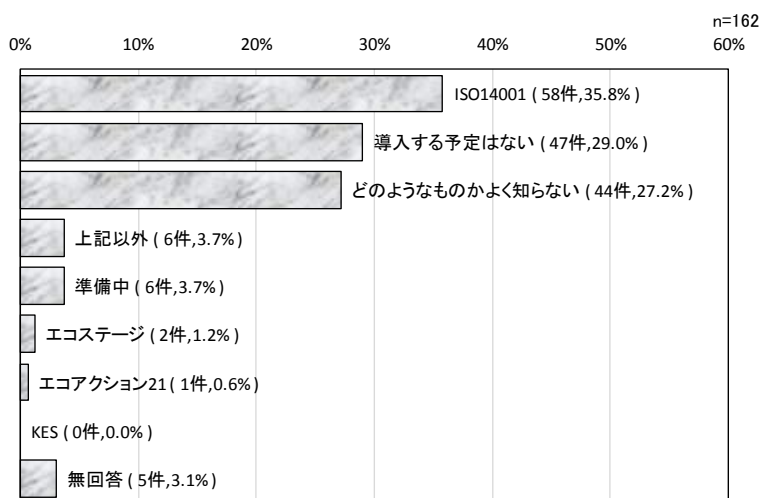


図 3-7 環境マネジメントシステム導入状況

事業所 問8 ハード面 貴事業所では、環境への配慮としてどのような対策を導入、又は実行していますか。導入、又は実行の状況についてお答えください。【単独回答】

(1) 全体総括

回答者のハード面における環境対策の導入状況は図 3-8、回答毎の上位となる項目については表 3-1、表 3-2、表 3-3、に示すとおりであった。

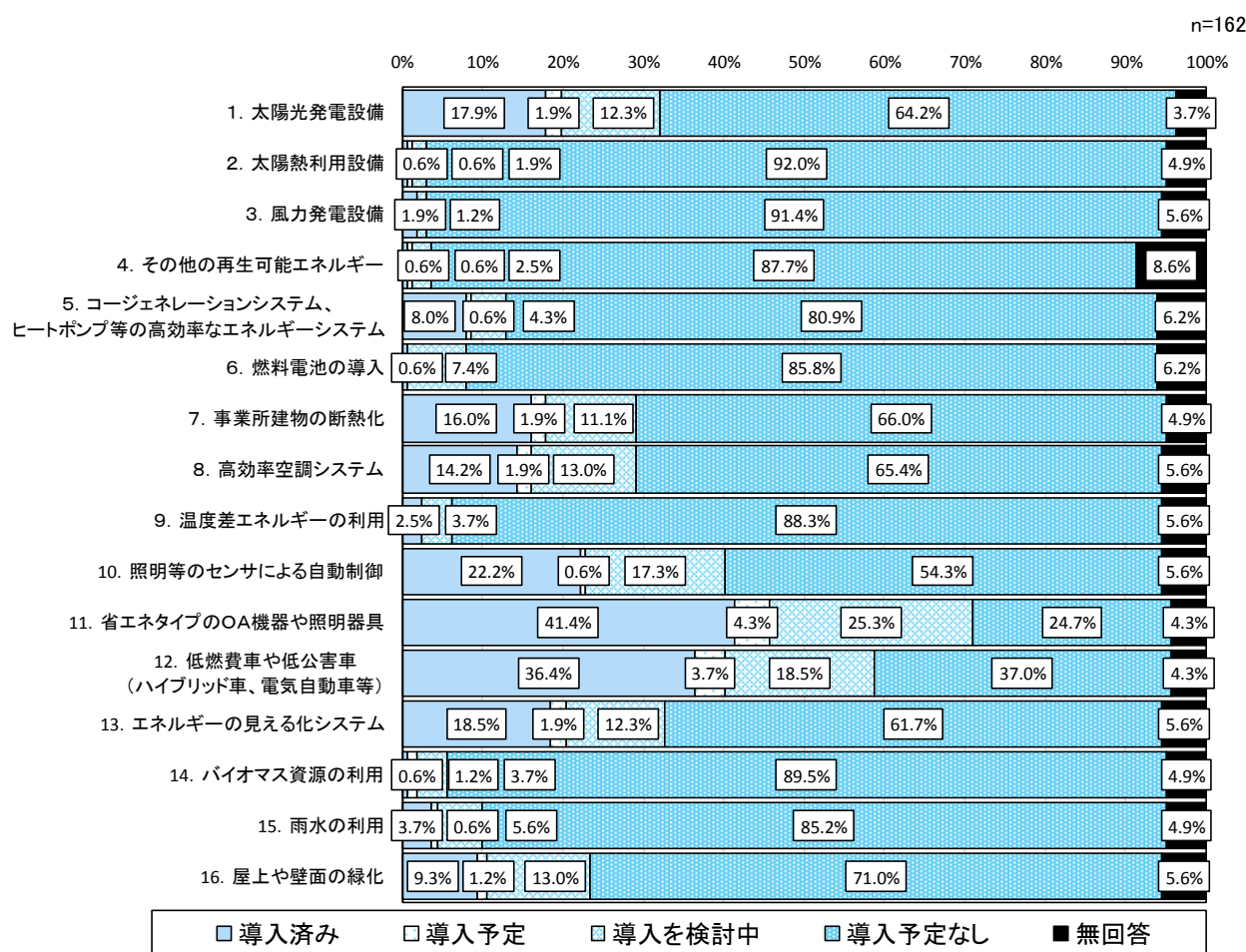


図 3-8 環境対策の導入状況(ハード面)

（２）導入済み・導入予定の上位

回答者の導入済み・導入予定の上位は表 3-1 に示すとおりで、特に「11. 省エネタイプのＯＡ機器や照明器具」、「12. 低燃費車や低公害車（ハイブリッド車、電気自動車等）」が４割以上の回答者が積極的に環境対策を導入している状況であった。

表 3-1 導入済み・導入予定の上位

順位	環境への対策	導入済み・導入予定の割合
1	11. 省エネタイプのＯＡ機器や照明器具	45.7%
2	12. 低燃費車や低公害車（ハイブリッド車、電気自動車等）	40.1%
3	10. 照明等のセンサによる自動制御	22.8%
4	13. エネルギーの見える化システム	20.4%
5	1. 太陽光発電設備	19.8%

（３）導入予定なしの上位

回答者の導入予定なしの上位は表 3-2 に示すとおりで、上位５位については８割以上の回答者が導入予定なしと回答しており、特に太陽光を除く再生可能エネルギーの導入に消極的な傾向であった。

表 3-2 導入予定なしの上位

順位	環境への対策	導入予定なしの割合
1	2. 太陽熱利用設備	92.0%
2	3. 風力発電設備	91.4%
3	14. バイオマス資源の利用	89.5%
4	9. 温度差エネルギーの利用	88.3%
5	4. その他の再生可能エネルギー	87.7%

（４）導入を検討中の上位

回答者の導入を検討中の上位は表 3-3 に示すとおりで、「11. 省エネタイプのＯＡ機器や照明器具」で２割以上の回答者が導入を検討中と回答しており、今後の環境対策の導入増加が期待できる状況であった。

表 3-3 導入を検討中の上位

順位	環境への対策	導入を検討中の割合
1	11. 省エネタイプのＯＡ機器や照明器具	25.3%
2	12. 低燃費車や低公害車（ハイブリッド車、電気自動車等）	18.5%
3	10. 照明等のセンサによる自動制御	17.3%
4	8. 高効率空調システム	13.0%
	16. 屋上や壁面の緑化	13.0%

事業所 問8 ソフト面 貴事業所では、環境への配慮としてどのような対策を導入、又は実行していますか。導入、又は実行の状況についてお答えください。【単独回答】

(1) 全体総括

回答者のソフト面における環境対策の実行状況は図 3-9、回答毎の上位となる項目については表 3-4、表 3-5、表 3-6、に示すとおりであった。

実行状況については、「ほぼ実行している」、「時々実行している」が多数の対策が6項目、「今後実行する予定」も含めると9項目で多数を占めており、これらの項目については浸透していると考えられる。

しかしながら「実行予定はない」が多数を占める対策も4項目あり、これらの項目については取組の促進を行う必要がある。

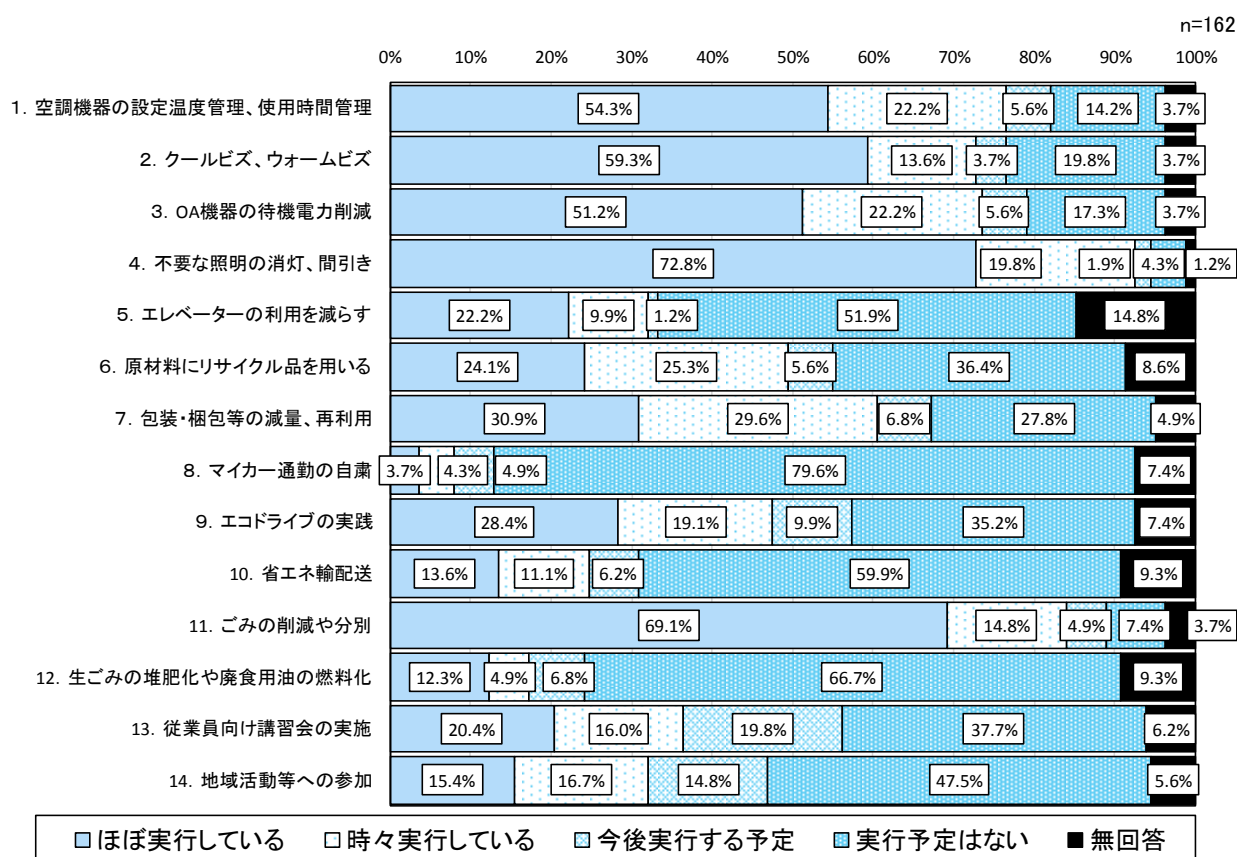


図 3-9 環境対策の実行状況(ソフト面)

(2) ほぼ実行している・時々実行している上位

回答者のほぼ実行している・時々実行している上位は表 3-4 に示すとおりで、上位 5 位については 7 割以上の回答者が実行しており、特に積極的に環境対策を実行している状況であった。

表 3-4 ほぼ実行している・時々実行している上位

順位	環境への対策	ほぼ実行している・時々実行している割合
1	4. 不要な照明の消灯、間引き	92.6%
2	11. ごみの削減や分別	84.0%
3	1. 空調機器の設定温度管理、使用時間管理	76.5%
4	3. OA機器の待機電力削減	73.5%
5	2. クールビズ、ウォームビズ	72.8%

(3) 実行予定はない上位

回答者の実行予定はない上位は表 3-5 に示すとおりで、「8. マイカー通勤の自粛」、「12. 生ごみの堆肥化や廃食用油の燃料化」については 6 割以上の回答者が環境対策の実行に消極的であった。

表 3-5 実行予定はない上位

順位	環境への対策	実行予定はない割合
1	8. マイカー通勤の自粛	79.6%
2	12. 生ごみの堆肥化や廃食用油の燃料化	66.7%
3	10. 省エネ輸配送	59.9%
4	5. エレベーターの利用を減らす	51.9%
5	14. 地域活動等への参加	47.5%

(4) 今後実行する予定上位

回答者の今後実行する予定上位は表 3-6 に示すとおりで、「13. 従業員向け講習会の実施」、「14. 地域活動等への参加」、「9. エコドライブの実践」で約 1 割以上の回答者が今後実行する予定と回答していた。

「14. 地域活動等への参加」、「12. 生ごみの堆肥化や廃食用油の燃料化」については、実行予定はない項目としても挙げられているが、今後の取組次第では実行する方向への移行も期待できると考えられる。

表 3-6 今後実行する予定上位

順位	環境への対策	今後実行する予定の割合
1	13. 従業員向け講習会の実施	19.8%
2	14. 地域活動等への参加	14.8%
3	9. エコドライブの実践	9.9%
4	7. 包装・梱包等の減量、再利用	6.8%
	12. 生ごみの堆肥化や廃食用油の燃料化	6.8%

事業所 問9 省エネルギー診断を受けたことがありますか？【単独回答】

回答者の省エネルギー診断の状況は、「受ける予定はない」が最も多く 62.3%、次いで「現在検討中」が 13.6%であった。

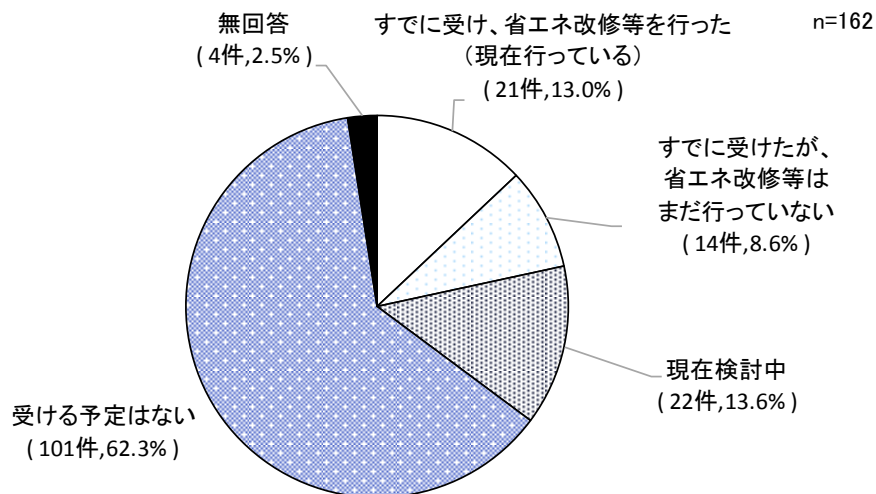


図 3-10 省エネルギー診断の状況

事業所 問10 地球温暖化対策を実行していく上で問題となっていることはありますか？【複数回答】

回答者の地球温暖化対策の問題点は、「対策にかかる経費が負担」が最も多く 64.2%、次いで「対策に関する知識や関連情報が少ない」が 29.6%であった。

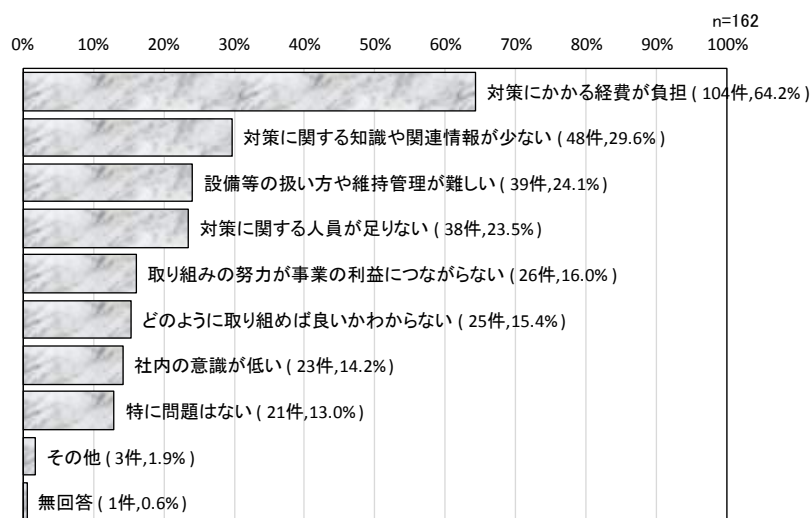


図 3-11 地球温暖化対策の問題点

事業所 問 11 地球温暖化対策に役立つ施設・設備、システム等の導入にあたって、どういった条件が整っていれば導入されますか？【複数回答】

回答者の地球温暖化対策導入の条件は、「導入にあたっての補助がある」が最も多く 77.8%、次いで「削減目標に見合った効果がある」が 65.4%であった。

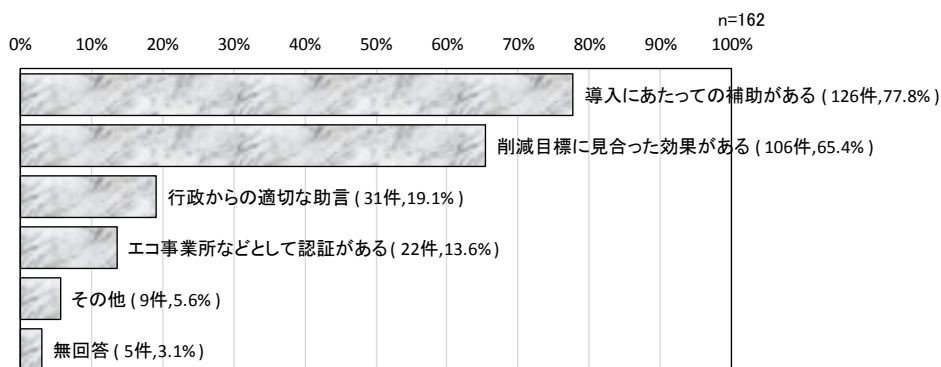


図 3-12 地球温暖化対策導入の条件

事業所 問 12 地球温暖化対策を進めるため、市が取り組むべき施策をどのように考えますか？【複数回答】

回答者の市が取り組むべき施策は、「太陽光など自然エネルギーを利用した設備やエコカーなどの導入に対して補助制度を充実させる」が最も多く 63.0%、次いで「地球温暖化や省エネルギーなどに関する情報を発信し、啓発する」が 48.1%であった。

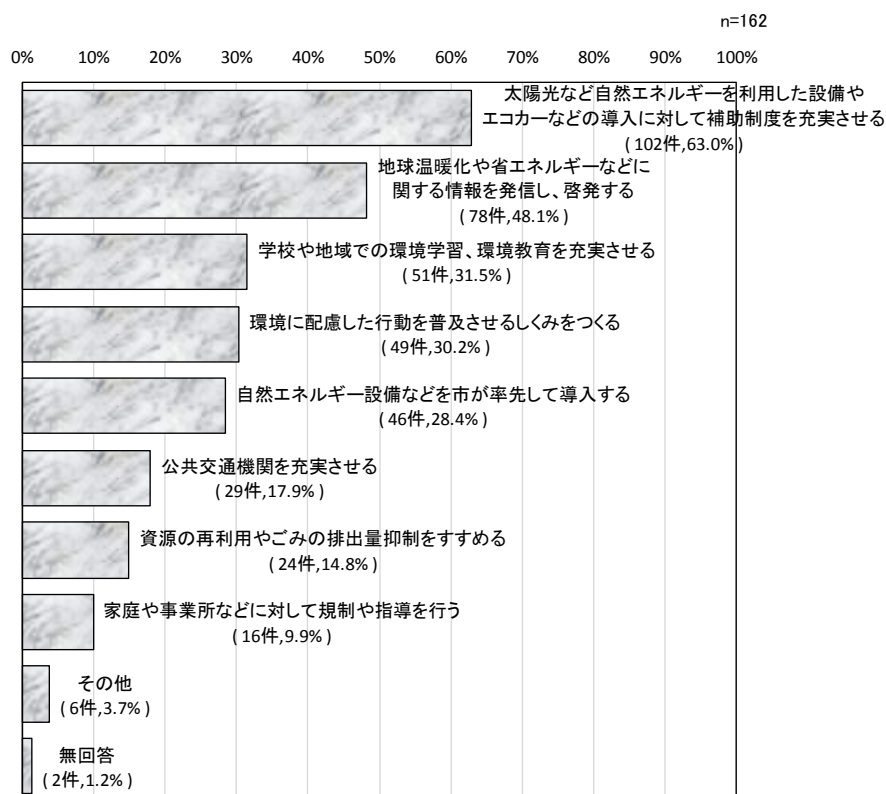


図 3-13 市が取り組むべき施策

事業所 問 13 市から発信される温暖化対策や省エネルギー等の情報について、どのような手段で得たい
 と思いますか？【複数回答】

回答者の市が発信する情報の取得方法は、「広報とよかわ」や地域の回覧などで」が最も多く 54.3%、
 次いで「市のホームページで」が 50.0%であった。

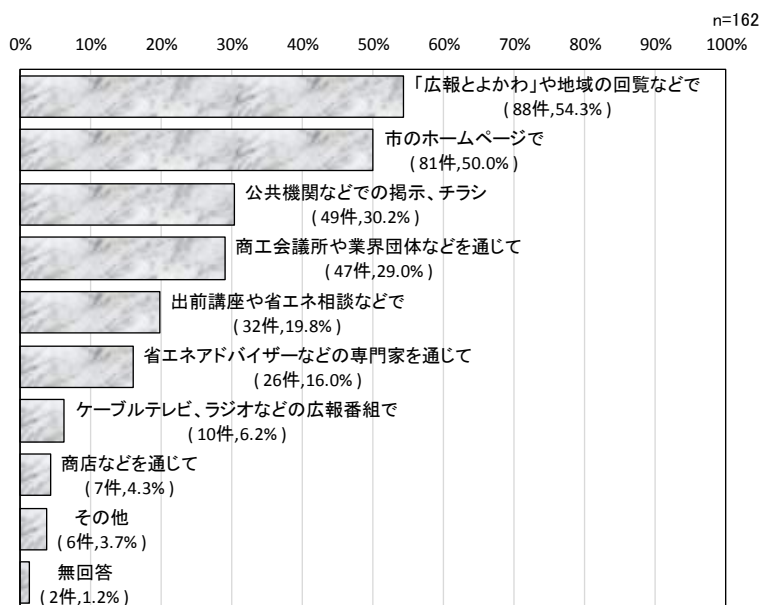


図 3-14 市が発信する情報の取得方法